



Governor slogan

No try No change! Wa (和)

Keyword



PEACE

2019-2020年度

平和の道のり

ライオンズ国際平和ポスター・コンテストをスポンサーして下さり、ありがとうございます!このコンテストは、地域の子どもたちと共に、平和、寛容さ、国際理解を推進する素晴らしい機会です。平和を考え、それが自分たちにとって何を意味するかを独創的に表現し、その独自のビジョンを世界の人々と分かち合うことを、11歳から13歳の子どもたちに奨励します。

平和ポスター・コンテストの審査

各ポスターは、独創性、芸術性、テーマをどう表現しているかについて審査されます。

ポスターは、地域、地区、複数地区、そして国際的なレベルと、いくつかの段階で審査されます。国際レベルでは、芸術、平和、青少年、教育、マスコミの各分野から選ばれた審査員が、1人の大賞受賞者と23名の優秀賞受賞者を決定します。

- 1名の国際大賞受賞者には5,000ドルが授与され、特別授賞式に招待されます。
- 23名の優秀賞受賞者には、それぞれ500米ドルの賞金と表彰状が贈られます。

336-A地区 最優秀賞



みやもと みれい
宮本 弥怜 愛媛大学教育学部 附属中学校1年

思いやりは大切なこと

スポンサークラブ: 松山白鷺ライオンズクラブ

四国

No.4 4.5.6

第106号

令和元年7月15日発行

We Serve

2018-2019
DIST. 336-A

The International Association
Of Lions Clubs

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 地区誌

第32回 国際平和ポスターコンテスト

応募できる方 11歳~13歳までの児童・生徒
(2019年11月15日現在で、上記の年齢に達している方)

応募締切 令和元年11月15日(金)

- 応募規定**
- 用紙の大きさは、33×50cm以上50×60cm以下の画用紙を使用。
 - ポスターには、どの国語であれ、言葉や数字を使ってはならない。
 - 鉛筆・クレヨン・ペン・マジックペン・絵の具・チョークなどを使うことができる。
 - 立体作品は受け付けない。のり・テープ・ホッチキスなどいかなる物も添付できない。
 - 応募作品は、郵送用の筒に巻いて入れられるように柔軟性のある物でなければならない。
 - 写真を用いてはならない。コンピュータで制作してはならない。

作品募集



ガバナーズローガン

No try No change!

キーワード

Wa (和)

We Serve

ライオンズクラブ国際協会336-A 地区

2018-2019年度 道前キャビネット事務局

愛媛県西条市三津屋南10-20 通所介護センターまほろば 3F

TEL : 0898-52-8920 FAX : 0898-52-8921

E-mail dozen@ci336a.org

2019.第106号

発行日 令和元年7月15日

発行所 336-A地区 道前キャビネット事務局

発行人 関野邦夫

編集 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会

印刷 第一印刷株式会社



一年を、そして地区年次大会を振り返って

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区
地区ガバナー 関野 邦夫

Contents

- 1 一年を、そして地区年次大会を振り返って
- 3 地区年次大会を終えて
- 5 地区ガバナー年次報告
- 9 キャビネット幹事報告
- 11 リジョン・チェアパーソン 1年を振り返って
- 16 ゾーン・チェアパーソン 1年を振り返って
- 22 委員会活動 1年間を振り返って
- 25 周年行事
- 28 アクティビティ報告
- 30 物故会員と編集後記

表紙写真：石鎚山天狗岳
題 字：関野 邦夫



事業記念誌の編集を行っています。今しばらくお待ちくださいませ。

一年間を準備に向け、平成最後の、第65回地区年次大会を平成31年4月7日に愛媛県西条市で開催いたしました。準備万端、とくに飲食・アトラクション・お土産などに力を注ぎましたが、お楽しみ頂けましたでしょうか。

ただ一つ、代議員選挙の結果が次期地区運営に大きな影を落としました。次期地区ガバナー協議会議長の件は、ガバナー協議会が会則に基づき内定したことが、結局ローテーション廃止という流れへの逆行で幕を閉じました。それがガバナーエレクト空席へと繋がったのです。5月19日の特別会議で松山湯築シロの高岡英治氏が推薦され、6月初旬にはガバナーエレクトに内定され、6月11日に次期キャビネット幹事・会計内定の報が届きました。各地区委員長が順次内定し、18日には事務局の電話・メールが繋がると聞いていますので、今後、少しでも早い稼働を期待する次第です。

7月5日の夕刻に新たな気概で関西国際空港に降り立った、私たちを迎えたのは西日本豪雨（平成30年7月豪雨）でした。この豪雨災害に関しましては、地区誌第103号及び104号に寄稿しましたので再読して頂ければ幸いです。

与えられた期間の後半には、地区メイン事業のProject-Sに取り組みさせて頂きました。この事業への思いは、地区誌105号に寄稿致しましたが、四国各地で真摯に対応を頂き、本当に有難うございました。今期最後の仕事として

7月5日の夕刻に新たな気概で関西国際空港に降り立った、私たちを迎えたのは西日本豪雨（平成30年7月豪雨）でした。この豪雨災害に関しましては、地区誌第103号及び104号に寄稿しましたので再読して頂ければ幸いです。

与えられた期間の後半には、地区メイン事業のProject-Sに取り組みさせて頂きました。この事業への思いは、地区誌105号に寄稿致しましたが、四国各地で真摯に対応を頂き、本当に有難うございました。今期最後の仕事として

思えば、真鍋隆元ガバナーの第二副地区ガバナー、次いで川辺信郎元ガバナーの第一副地区ガバナーとして2年間の準備期間を経て地区ガバナーに就任したわけですが、この3年は瞬間に時が流れたように思います。地区ガバナーという大役だからと言っばかりではなく、ひとりのライオンとして貴重な経験を数多く得たことに感謝しています。まずもって、真鍋隆・川辺信郎両元ガバナーに、そして地区運営に関して協力を頂いたすべての方々に、衷心より厚く御礼を申し上げる次第です。ガバナーチームに支えられ、リジョンチェアパーソン及びゾーンチェアパーソンの皆様方に力をお貸しいただき、各委員会の委員長・委員の皆様方には素晴らしい活躍を頂きました。また、佐藤キャビネット幹事・花山キャビネット会計・各副幹事をはじめ桑村・小杉両事務局員には地区運営をしっかりと下支えして頂きまして本当に有難うございました。あと少し、お力添えください。

さて、私の一年は、第101回国際大会で始まり、6月29日から7月3日までネバダ州ラスベガスで開催されたこの大会に、私たち日本のガバナーエレクトはJTBのお世話で6月25日、羽田からロサンゼルス経由で現地入りしたのです。4度目になるエレクト研修を4日間受講し、最後に今期の目標・会員増強数・新クラブ結成数・等々を提出して国際理事による署名で契約を結び、グドラン国際会長からガバナーに任命されたわけですが、この任命式の模様はしっかりと心に焼き付いています。



ライオンズクラブ国際協会 336A地区第65回 地区年次大会を終えて



年次大会委員長
徳増 達史
(西条)

平成29年（2017年）5月道前キャビネットのスタッフが選考決定され、本格始動しました。

それから2カ月後の7月下旬、花山しから地区年次大会の委員長を受けてくれないかとの打診あり、悩んだ挙句、ここで受けなければ、ライオンズ生活に悔いを残すことになると思い、実行委員会スタッフの選考を任せてもらえるのならということで、受諾することを決心しました。

まず、年次大会事務局員を西条LCの益田事務局員に要請し、快諾していただきました。

委員会スタッフの人選に関しては、当時より西条LCと西条石鎚LCの有志で行っていた私的な勉強会のメンバー8名の協力が不可欠と考えて、勉強会ラインで打診したところ、全員の賛同を得ることができ、平成29年8月8日地区年次大会の委員長受諾を決定しました。

平成29年9月12日、西条LC理事会にて、地区年次大会の委員長として推薦決定され、11月1日、道前キャビネット内局準備会に初出席し、東予LC、伊予小松LCからの実行委員会メンバーの推薦をお願いし、決定をもって実行委員会のスタートをきりました。

当初は、何から手をつけてよいか解らず、平成30年2月14日に今治中央LCの元地区ガバナーの西原しを頼り、当時のキャビネットメンバーより年次大会への取り組み方を教わり、漠然とはありますが、大会への手順らしきものを学びました。

続いて、徳島年次大会に事務局員と共に全ての会場をくまなく視察し、おぼろげながら年次大会の全体像が把握した感じがしましたが、こんな形で年次大会を観察することになるとは不思議な感覚でした。

平成30年6月19日徳島にてキャビネット引継会が行われ、いよいよ実行委員会も本格的に活動を開始しました。

7月、8月はガバナー公式訪問に随行し、地区年次大会のPRに奔走しました。

この期間に、年次大会の骨子が固まり、それに基づいて各部会にて具体的な内容が検討されて行きました。

大西しの宿泊部会が先行し、花山しが記念式典の台本を手かけ、植木しを中心に駐車場及び各会場の設営原案が作成され、庄野しの懇親会部会で具

案が討議され、徐々に形がみえてきました。

10月に入り、あと半年となってきた、各部会とも本腰を入れて活動を行い、平成31年2月には、大会の全容が形作られました。

3月に入り、本登録が締め切られると、駐車場の割り当てを村瀬しは懸命にこなし、各種看板を織田しは網羅的に仕上げていきました。

事務局は各クラブからの問い合わせ対応と本番への準備とで土日なく毎晩10時退出のハードな日々が続ぎ、伊予小松ライオンズクラブの宮下事務局員の助けを借りながら、益田さんでないと決して出来ないであろう綿密な心を入れ込めた作業をこなししてくれました。

さらに、リハーサルが繰り返される度に、不備な点が明らかとなり、花山しによる台本の修正が何回にも及び、修正台本の活字化も全て益田事務局員の手に乗せられました。

大会当日は唯一の不安材料であった天候も味方し、快晴で迎えることが出来、ホッと胸をなでおろしました。

当日はガバナーエレクトが否決されるという事態に直面し、花山しが仕上げた記念式典の台本を急遽変更するという難事を見事クリアし、人で溢れる大懇親会も盛況のうちに終えることが出来、私個人としては、及第点をつけられるのではないかと自負しております。

今回の年次大会の特徴は、すべての企画・運営・実行をメンバーと事務局員の手作りで行った点であり、サブスローガンである「小さい（こんまい）街のお接待」を実行するために、実行委員同士の協議は白熱を帯び、ややもすると感情がぶつかる場面も度々ありましたが、終了してみると、そのぶつかりこそが、この年次大会の骨子を全うできた要因であることに気が付きました。

手作りの大会であったが故、終了後のメンバーの絆がより一層結ばれた感が強く、そのことが何よりの幸せでなりません。

記念ゴルフ大会を実行していただいた今治し様、日韓親善国際交流のタベを全て実行していただいた新居浜し様、そして大会をお手伝いいただいた4ゾーンのメンバーには心より感謝申し上げます。

私にこのような機会を与えて下さったすべての人にありがとうを言って筆をおきます。





素晴らしい一年に感謝

ライオンズクラブ国際協会336-A地区
地区ガバナー

関野 邦夫

ガバナースローガン
「No try No change !」

キーワード
「Wa (和)」

地区スローガン
「Service Activity is the key to Lions clubs」

「No try No change!」を胸にこの一年を過ごしてきました。しかし、私にとってラスベガスでの華やかなガバナー就任に始まったこの一年は、平成30年7月豪雨災害の爪痕が大きく刻まれ、「Wa(和)」というキーワードとは裏腹に、オセアルフォーラム海南島での登録数制限、次期協議会議長をめぐる一件、数名の元ガバナーを中心とした次期ガバナーエレクト不信任劇、騒乱の特別会議、などなど人的な不協和音で満たされてきました。現在、次期ガバナー予定者準備事務局の連絡代行を行いながら、Project-S 報告の冊子化を進めつつ、年度の幕を閉じようとしています。遍路道合同清掃は総じて好感をもって受け止められたように思いますが、一連の流れの中で道前キャビネットに対する誹謗中傷もあったとも耳にしており、なんとも複雑な気持ちです。

今期も残すところあと少し、悔いなく次期を迎えたいと思います。

1 GMT・GLT・FWT・会期2019

平成30年7月豪雨災害による会員減は、直接的には最少限にとどまりました。しかし今期は、松本委員長の奮闘にも拘わらず思いのほか会員数が伸びませんでした。新クラブチャーターも支部の発足もなく、全く力及ばずというところでした。新会員にはガバナーピンを差し上げましたが、多くのクラブで高齢化を背景に会員減少が進んでおり、期末には伊予長浜LCが解散、高松中央LCが高松西LCと合併、ついで東温LCも解散し、期首144クラブのところ次期は141クラブで始まります。経過を鑑みれば、今後もクラブ解散がでてくる可能性があります。残る期間も、会員増強とくに女性会員増を呼びかけていき、次期に繋げたいと思います。

指導力育成については、今期は各クラブにCQIをご紹介いたしました。熱心な取り組みを期待しています。また、4月3日第4回ライオンズ次世代リーダー研究会(名古屋)に2名、5月11日13日初級ライオンズ・リーダーシップ研究会(名古屋)に1名を地区費負担で派遣しました。

会則については、クラブ組織に於いて、奉仕委員長を第二副会長が兼任すること、プログラムコーディネーターの役員としての設置、クラブIT担当者の理事会出席、などをお願いしてきました。それらの定着と、クラブでのGAT稼働をご期待いたします。次期にはGAT組織が変わるそうですのでご注意ください。

2 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加について

この委員会最大の使命は年4回の地区誌「四國」発行です。季刊の予定が多少ずれ込みましたが予定どおり、表紙で天狗岳の四季をお届けしました。福山委員長によれば、今期は、会員増強につながる、あるいは年次大会などの諸大会について参加したくなる、とにかく四國のライオンズクラブが元気になる、そのような効果を意識して編集しました。

国際協会のホームページが刷新されつつありますので日常でご利用ください。またMyLIONの普及に努めてきました。まだ開発途上ですが、普及が進めば他地区とのふれあいや国際交流にも使えるはず。導入、利用を推進してください。

第57回オセアルフォーラム(海南島)では、中国側の受入人数制限により結果的に断念した方が多いのではないのでしょうか。毎年、各会合に多くの参加で臨みたいものです。



地区ガバナー 関野 邦夫



ライオンズクラブ国際協会336-A地区
第3回キャビネット会議

国際協会 会長テーマ
We Serve
副会長 副会長テーマ
336-A地区スローガン
Service Activity is the key to Lions clubs

336-A地区ガバナースローガン
No try No change!
ガバナーキーワード
Wa (和)
地区ガバナー 関野 邦夫



3 青少年・ユース・ライオンズクラブ

青少年事業には、時代に沿った新たな事業を起こしたクラブもありましたが、長期で地域に根づいたアクティビティが多いように見受けられました。国際平和ポスターコンテストについては毎回素晴らしい作品が応募されますが、地区が主催して各クラブが予選で1〜数作品を提出するようにすれば、コンテストキットは1セットですみ予算削減に繋がります。次期に申し送り、今後の検討を期待します。

日本GSTの4重点目標、①糖尿病予防啓発、②ライフジャケット配備の推進、③子供の貧困と小児がん、④スペシャルオリンピックスへの協力と支援に関するアクティビティに取り組みクラブが出てきています。取り組みが一層進むことを望みます。

「キャンペーン100」、ワンハンドレッドの一年目が終わります。「奉仕の歴史」からの100年のために、すべての会員（100%）が、年間100ドルを！。モデルクラブ宣言したクラブもあり、クラブシェアリング事業に動いているクラブも出てきました。3年間に3億ドルの資金調達に今後もご協力ください。よろしくお願いたします。

ライオンズクラブも静かに浸透しています。3月末のセミナーを経て、四国中央市の認定ことも園で7月に導入され、8月の公募型ワークショップへの参加を機に、今年1月に鳴門市のこども園でも導入されました。野間委員長によると、各県での会員対象のセミナー開催と並行して、幼稚園版を紹介していくのは普及を加速拡大できるという実感があるとのこと。次期も取り組みをしっかりと引き継ぐよう申し送ります。

4 環境保全・保健福祉・アライメント

昨年7月の平成30年7月豪雨災害を契機として、2月には篠原委員長などの尽力で336-A地区と香川県社会福祉協議会との災害ボランティア支援協定を締結することができました。今後、四国4県社協との協定締結を目標にするよう次期にお願いしたいと思います。また、今期一杯同災害支援窓口となり、義援金の残金は地区アラート基金として次期以降に引き継ぎたいと思います。地区で復活させた環境保全写真コンテストは概ね好評で、環境保全への関心の高さを再認識しました。次期にも開催をお勧め致します。保健福祉の分野においては、四献運動及び献血活動の継続強化に大きな成果が見られました。各地の薬物乱用防止教育認定講師養成講座では学生参加が促進されています。

5 YCE・ライオンズレオ・国際関係について

今期のYCE事業では、夏期派遣生3名（カリフォルニア2名、台湾1名）受入生6名（トルコ・メキシコ各1名、台湾4名）でした。今期はサマーキャンプを単独開催し、7月23日から26日の間、3泊4日で自然に恵まれた我々の地域を充分楽しんでもらいました。60番札所横峰寺では遍路の白衣を羽織ってもらい、遍路道清掃「プロジェクトS」をして頂きました。冬期は、派遣生1名（マレーシア）・受入生2名（オーストラリア・イタリア）でした。岡山のリオクラブから10名の参加協力を得て、B地区と合同で12月22日〜24日いぶきの里スキー場の開催でした。受入のホストクラブ・ホストファミリーを募るのが非常に難しい時代になってきていると感じます。

YCE事業への一層のご理解・ご協力をお願い致します。レオについては、新しいクラブが松山に誕生し当地区で7クラブとなりました。レオクラブプログラムに基づき常態的な金銭援助を控えていただきました。日本初の高知レオクラブが3月に50周年を迎えました。レオには、今後YCE事業を通して、積極的に海外に羽ばたきグローバルな人間性を養って頂きたいと思っています。

6 IT推進チーム 年次報告

IT関係は、井出チームリーダーはじめチームの取り組みで、ゆっくりではありますが確実に成果を上げています。スマホ版 MyLION はシカゴ大会でリリースされ、昨年日本語版が出ていますが、利用者が少なく有意義な使われ方がされていません。PC版 MyLION も既にリリースされましたが本格利用には至っておりませんので、今のうちにスマホ版に慣れて頂ければと思います。

eAMR - Servanna や My LCI の切り離しはまだまだ行われていませんが、この秋の切断がアナウンスされていますので、運用に支障が出ないようサポート体制維持を次期に引き継がねばなりません。地区ホームページでの地区役員や委員会の情報発信は普及率約87%ですので、100%に向けてもうひと踏ん張り推進致します。IT推進チームとクラブIT担当者との協力体制構築は、一部でメッセージンググループを構築し、MyLION 普及促進等に利用していますが、まだ全面的な活用には至っておりません。今後も体制構築に努めたいと思います。年次大会選挙の開票作業の電子化を検討しましたが、時間短縮、省力化、コスト等を考慮した結果不採用としました。選挙関係では事前登録や代議員証発行などを自動化し、バーコードによる資格証明作業を改善しました。投票した利用感想をお寄せください。





「今の課題は次期のこと」



キャビネット幹事
佐藤 公平 (東予)

キャビネット幹事として活動の機会を与えられたこの一年、大変貴重な多くのことを経験させて頂きました。まずもって、ご指名を賜りました関野地区ガバナーに厚く御礼を申し上げますとともに、副幹事団・内局メンバー・キャビネット事務局員、その他様々な教えを頂きました数多くのライオン並びに地区内全クラブに對しまして、この紙面をお借りし、深く感謝を申し上げたいと思います。また各リジョンチェアパーソン及びゾーンチェアパーソン並びに各委員会の委員長・委員の皆様方におかれましては、地区活動をお支え戴き本当に有難うございました。お陰様で、地区メイン事業となる Project-S では各地で真摯に取り組んで頂くことができ、今現在、事業記念誌を作成しています。

また、地区誌第1号に「読書のジャンルを推理小説からライオンズにのり代えて随分と時間を割いた」旨記しました。この一年、その姿勢を崩すことなく、様々な情報をかみ砕き、出来るだけわかりやすくとお伝えしてきました。至らず、不行き届きな点につきましては何卒ご容赦頂きたいと思えます。100周年を過ぎ、変わりゆくライオンズの姿を多くのライオンに意識して頂けたでしょうか。個人的には、この一年、公式行事の運営には露ほどの負担も感じませんでした。毎日何件も届くメールへの対応にも慣れ、様々なレベルの問い合わせにも、ちよつとしたスパイスだと言いきかせ対応しました。全般的には楽しく、一生懸命取り組みましたが、いくつもの波乱が重なり、大いに疲弊したことも事実です。今期の幕開けは平成30年7月豪雨災害でした。たちまちの緊急支援LCIFへの対応、いくつもの支援事業、罹災者会費免除の取り組み、義援金などの取りまとめ、のちには、香川県社会福祉協議会との災害時ポ

ランティア協定締結、地区アラート基金の創設、など多事に携わり、地区としての支援奉仕に関わることができたことを感謝申し上げます。一刻も早い被災地の復興を祈念いたします。

海南島で開催された第57回オセアラルフォーラムにも戸惑いを隠せませんでした。国内で参加を呼びかけるなか、中国側から日本の登録者数が段階的に制限され、開催に制限撤廃という不可解な対応に振り回されたのです。

次期協議会議長の件、ガバナーエレクト空席の件、随分と悩まされましたが残り任期はあとわずか、次期の地区運営をどう支えるか、これが私の当面の課題です。

「楽しく誇りをもって」



キャビネット会計
花山 志郎 (西条)

あつという間の1年であった様に思います。

平成30年7月豪雨災害支援に始まり災害の年であった様にも思います。現地の復興はまだまだの様で、未長く協力したいと思えます。

さて1年間会計として何をしたらのか振り返ってみても、これをしたという事は思い浮かびません。道前キャビネットの皆様に変御世話になりました。

「Project-S」も、各クラブでそれぞれの形で実施された事、大変嬉しく思っています。

ただ一つ、心残りなのは、地区ガバナー公式訪問で各クラブの活動をもっと詳しく時間をかけ、お互いの情報交換をし、対話の時間を十分と「切磋琢磨」する時間が少なかったことです。

ガバナースローガン『No try, No change』私が思う事は、336-A地区全体に言えると思えます。「い

までしよう」と、特に感じました。

次年度は高岡英治地区ガバナーの下、皆様のご協力で素晴らしい1年にして頂きたいと思えます。私は入会して32年になりますが、「友情・親善・相互理解のきずな」によってクラブの調和をはかる。今でも持ち続けています。

「おてんとうさまはきつと見てくれている」と信じています。

「四国はひとつ」もつともつと話し合い、認め合い、思い合う事でより一層、誇り高きライオンズ活動を実行できる336-A地区でありますよう、祈念申し上げます。

皆様のあたたかい御協力、本当にありがとうございました。

合掌

何だったのか？



副幹事・事務局長
近藤 晴雄 (西条石鎚)

2016年11月頃、関野ガバナー所属の東予ライオンズクラブより我がクラブに2018〜2019関野キャビネットでの事務局長・副幹事就任の依頼が有り、「第二副地区ガバナー推薦状」にRCとしてサインした以上何を言われても「はい」しかないと思っているとクラブ内で気持ち述べたら、即決してしまつた。

2017年7月の第一回準備内局会からもう2年が経とうとしています。何をしたのかな？いろいろなバタバタしたけれど、これをやつたというものが浮かんできません。幸い、道前キャビネットには、佐藤幹事をはじめ大変優秀な事務局次長、事務局員がいてくれて無事に1年間を終えることが出来ました。皆様方には感謝感謝でございます。

昨今、事務局の固定化の話題が出ております。自論としては「無理でしょ」でしたが、1年間経験して、いろいろ困難は有るけれど、真剣に

議論することも必要じゃないかと考えるようになりました。

年次大会では、大変残念な結果となりました。ガバナーエレクト不選出という事で、ヤレヤレのはずが又バタバタが再燃しましたが、皆様のご努力により次期ガバナーも決定しキャビネットも立ち上がりました。

先日、無事に引継ぎを行う事が出来ました。しかし、通常1年程掛けて準備をするものですが、次期キャビネットは一ヶ月で立ち上げました。準備不足は、否めないところですが皆様には、会員の総意(?)でこういう事態になった、という事をご認識頂き、次期キャビネットには、友愛と相互理解の精神を以て全面的なご支援、ご協力をお願いいたします。

今は、引継ぎを終えた安堵感と一人の会員の名誉を著しく傷つけてしまったことに対する悔いなどで、虚脱状態です。次期の地区のますますのご発展を御祈念申し上げます。



石鎚山 天狗岳



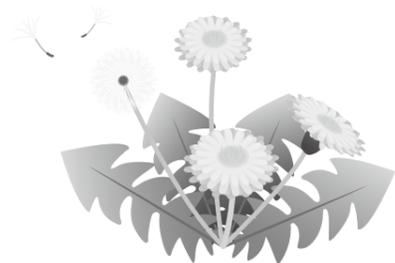
林 芙美子記念碑



石鎚山全景



昨年の4月29日の日曜日・今治国際ホテルにてキャビネット次期役員次地区委員の研修会に始まり一般の第4回キャビネット会議まで都合正式なRCとしての会合が50回！お陰様でプライベートなゴルフも家族サービスもほぼ全滅、まあまあ忙しい毎日でしたがそれなりに充実した一年でした。ガバナーとしてキャビネットの皆さんの大変さを実感しました。各地区の様々な会合に参加させて頂きそして各地の色々なご馳走を堪能いたしました。めったに出ない経験をさせて頂き有難うございました。道前キャビネットの一員として期の初めからいきなり大水害の対策に取り組み！それから2R内の各クラブ訪問から各Zの諮問委員会・会員委員会・年次大会と渡り歩き・・・そしてとどめは！4月7日の336A地区年次大会！RCとしてまあまあ重要な発表を任ざれておりましたのに、なんとまあ予想外の



どんでん返し！エレクトの不信任報告など前代未聞の出来事でした。それから1ヶ月・右往左往の連続でしたが先のキャビネット特別会議にてエレクト推薦者が決まりこの原稿を書いている頃にはエレクトが決まっていることと思いません。大水害の幕開けから関野キャビネット波乱の一年でしたが皆さんに支えられて何とかRCの役目を終えることが出来そうです。一年間有難うございました。

昨年の七月六日の記録的な豪雨により、3R地区は多大な被害と死者が出ました。ラスベガス国際大会から帰るなり、支援活動にかけつけて頂いた関野地区ガバナー並びにキャビネットの方々には厚くお礼申し上げます。

私事ですが最近、懐メロの小林旭の「ごめんね」の歌を聞くたびに、謙虚な気持ちにさせられます。二番の歌詞に「ばかだな ばかだな 俺は生まれつき ばかだよ ばかだよ 夢をこわして」とあります。

地区大会のガバナーエレクトの否決は、様々な後遺症を残したと思います。クラブ会員の貴重な財源が本来必要で無いことに費やされる結果となり、それぞれのクラブが一生懸命、会員の獲得に努力されたことに水をさし、今後の会員増加に不安を抱かせるなど、数えれば枚挙に暇がありません。

次期キャビネットは大変だと拝察



いたしますが、「ウィ・サーブ」の原点に戻って、ライオニズムの高揚に努力をお願い致します。

晴天の霹靂



2R-RC

羽田野 修司 (今治)

四国(336A)は素晴らしい



3R-RC

末光 勝幸 (伊方)



Region Chairperson

Zone Chairperson

一年間を振り返って



1R-RC

藤岡 明 (松山白鷺)

昨年4月29日に地区役員、委員研修会に参加し関野ガバナーより2018・2019年度の抱負を聞かせて頂きました。

スローガンは「NO try NO change!」キーワードは「Wa(和)」を掲げられました。私もリジョンチェアパーソンとして、1Rの会員全てに関野ガバナーの方針を理解してもらおう努力する事を決意しました。

そして、一年が経過しようとしています。

例えば、7月の西日本豪雨災害の時に中予地区の消防団へ高圧洗浄機を贈呈する事が出来ました。1R全てのクラブの心が一つに成りました。(感謝)

道前キャビネットも1Rの会員全ての思いをご理解して頂き、多大なるご理解を頂きました。

7月18日ガバナー公式訪問がありました。新年度になったばかりでリジョン会議もまだしていない状況です。

思ったが、ZC、地区委員さん、皆さんの協力が有り無事にガバナー公式訪問を開催することが出来ました。(感謝)

8月から1R19クラブの例会訪問が始まり、不安と楽しみが交錯する中でしたが全てのクラブが暖かく歓迎して頂きました。歴史と伝統のあるクラブ、新しく若々しいクラブ、会員数の多いクラブ、少ないクラブ、さまざまですが19クラブの会員皆さんの笑顔が忘れられません、有難う御座いました。(感謝)

そして、第65回年次大会での「まさか」の出来事がありました。

何があったか説明をしてほしいとの問い合わせに、私は一言「わかりません」としか、言えませんでした。一年が本当に早かったような気がします。何とか無事にRCの責務を終えることができそうです。一年間本当にありがとうございました。感謝、感謝、感謝



楽しんだ1年



4 R I R C
田中 貞男 (東かがわ)

単位クラブの会長経験しかない私 RCを引き受けて自分なりに頑張ってきました。

そのお陰で、今年度のZC・地区委員の役員の皆様の協力で楽しい1年でした。

国際テーマ「奉仕の精神」を自分のモットーとし、キャビネットに対しても意見が言える活動をしてきました。

4 Rは23クラブを配下とする組織で、336-A地区では最大のリジョンであります。

RCとしての仕事は、地区ガバナーの方針を理解して頂きながら、R内クラブ全ての例会訪問、記念式典、各会議の取組み、8月には最大の式典、ガバナー公式訪問も無事に終わることができ良かったと思っています。

時代とともに変わっていかなくてはならないことと、変えなくていいものと考えながらのRCとしての

取組みも行ってきました。アイバンク協会における役員理事についてはRCの当で職になって仕事を専門の方に2年任期でお願いすることにしました。

キャビネット関係について変えて欲しい事で、4 Rについては離島クラブがある中で地区委員の活動費が少なすぎる事から、地区役員活動費の増額を、また、キャビネット事務局の固定化の提案もしています。

また、災害が多くなってきた昨今、4 R・5 Rの地区委員を中心に検討し、336-A地区と香川県社会福祉協議会が、災害発生時に被災地に対してボランティア活動支援を行う協定書を結びました。今後他の県にも広がることを期待したいと思います。

最後に、楽しい一年となったこと、一年を通じて多くの皆様の協力を頂いたことに感謝申し上げます。



5 R I R C
植田 誠一 (丸亀)

336-A地区においては昨夏の西日本豪雨災害により多大な被害を蒙りました。特に3 Rのクラブの皆様には改めて心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年7月より5 RのRCを拝命して以来9つの主催会議を開催し、31のその他の会議や大会に出席させて頂きました。また昨年7月10日から9月5日までの期間に5 Rの13の全てのクラブの例会に訪問させて頂きました。長いようで短い1年間貴重な体験をさせて頂きましたことを感謝しております。

地区年次大会で65年の歴史で初めて次期地区ガバナーを選出できなかった事には衝撃を受けましたが、去る5月19日の特別会議において、次期地区ガバナー候補を国際協会理事会に推薦するところまで在任中に見届けられて安堵しております。

また、5 Rの2名のZCと6名の地区委員並びにIT担当者には、構

「退任のご挨拶」

成する13クラブに対してあらゆる機会に確に各専門分野の情報提供を行い、5 Rのために尽力いただきましたことに御礼を申し上げます。このような方々に支えられながら1年間RCの任務を果たすことができました。

退任後もライオンズクラブのために微力ながら活動して参る事をお約束して退任の挨拶とさせていただきます。



リジョンチェアパーソンを退任するにあたり



6 R I R C
山崎 勝彦 (高知)

つれづれなるままにリジョンチェアパーソンとなり日暮らし、おののクラブに向かいて、心移りゆく社会奉仕ごとを、そこはかとなく書きつければ、あやうしことキャビネットほしけれ。

世の人の心を満たすこと、色欲には如かず。人の心は愚かなるものかな。ガバナーなど仮のものなるに、しばらく襟のバツジに薫物(たきもの)すと知りながら、えらなる誉(ほまれ)には必ず心ときめきするものなり。

四国の仙人の、ライオン心のの白きを見て、通を失いけんは、まことに社会奉仕などの清らに、肥え豊かたらんは、外の色ならねば、さもあらんかし。

役の移り変わるこそ、水無月ごと哀れなれ。ものの哀れは回想こそ

まさると、人ごとに言ふれど、それもさるものにて、今ひとときは心も浮き立つものは、文月の景色にこそあめれ。

レオの声などもことの外に春めきて、のどかなる50年に、垣根の草萌え出づる頃より、やや春深く霞わたりて、花もやうやう気色だつほどこそあれ、折しも周年記念つづきて、心あわただしく散りすぎぬ。青葉になりゆくまで、よろづにただ心をのみぞ悩ます。

遍路は名にこそおへれ、なほ、山路の箒(ほうき)ぞ、いにしえの事も立ちかえり四国一斉に想い出なる。山吹の清げに藤のおぼつかなきさましたる、石鐘の雨難きこと多し。

活動を振り返って



7 R I R C
池本 耕三 (土佐香南)

「生きているうち はたらけるうち 日の暮れぬうち」と、ご恩返しのためにお引き受けしたRCであったが結構ハードな一年であった。

とりわけ4月7日の地区年次大会において、関野ガバナーから指名選挙委員会副委員長を拝命していた私は、開票に立ち合い、選挙結果を目の当たりにするという経験をした。

の準備の大切さを味わった。7月からは、第1回キャビネット会議リジョン会、7 R内15クラブの例会訪問日程調整、第1回地区ガバナー諮問委員会・ゾーンレベル委員会・ガバナー公式訪問の準備と本番のための会合が目まぐるしく続いた。さらに、今期の7 Rの最大の課題は、前期からの申し送りであるゾーンの再編成であった。

3ゾーン制を維持し、ゾーンごとのクラブ数と会員数をバランスよく是正する案は、修正を加えて8月の第1回地区ガバナー諮問委員会です承され11月の第2回キャビネット会議で報告し、承認された。

次期ガバナーに内定したという連絡を受けて、ホッとしているところだ。ノーマットの精神で、一日でも早く336-A地区を立て直し、ライオンズ本来の奉仕活動に取り組みために、自分のできることをしていきたい。

RCの職務は、年度替わりの7月から始まるのではなかった。前年度4月の次期役員研修から、準備リジョン会LT・TT・計画委員長オリエンテーション、5委員長スクールと続き、心



感動・感謝・友愛・出会いの一年でした



8 R I R C
大井 倫夫 (徳島吉野川)

元号が令和になり2か月が経ちました。私のRCとしての任期も終わろうとしています。この一年を振り返ると様々な思い出がよみがえります。昨年4月の次期地区役員研修会では、私は他のRCの方々より年齢も下で、どのリジョンのRCの方も大きく頼もしく見えました。自分ごと若造にこの大役は務まるのか。不安でいっぱいでした。早速、7月から9月の間、リジョン14クラブの例会訪問が始まりました。いかに、クラブの皆さんにガバナの方針を判り易く伝え、「NOZOMI Change」[Wa(和)]を浸透させるために何度も原稿を書き換えました。しかし、私の不安とは逆にどのクラブも暖かく迎えていただきました。時にはお酒も交え、キャビネットへの要望やクラブの実情、苦勞話、工夫等を聞かせてもらい終始和やかな例会訪問となりました。改めて14クラブには「本当にありがとうございます。どうぞございました」とお礼を申しあげます。

ご訪問でしたが無事に終わり安堵いたしました。年が明け、3月にはガバナー渾身の「Project-S」を行いました。8Rの全クラブがそれぞれの地域性や独自の計画で「遍路道清掃」以外にも環境保護への取り組みをして頂きました。キーワード「Wa(和)」がこの時形になったように感じました。時には、8R次期地区役員、地区委員の選出が思うように進まなかった苦勞や、地区年次大会での予想外の出来事などもありましたが、多くの勉強をさせて頂き、多くの方々知り合え、本心にRC職を受けてよかったなと思っております。皆さん、地区役員、地区委員のチャンスが回ってきたら是非「Go」してください。クラブへの奉仕という新しい奉仕活動が出来ます。何より仲間が増えます。最後にになりましたが、8R内のすべてのクラブ、次に常にゾーンをまとめ支えてくれた1Z・2Zの両ZC、動向を共にした6名の地区委員の皆さん、そして陰でフォローして頂いた徳島吉野川LCの皆さんに感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



9 R I R C
三木 和弘 (阿波池田)

9 R I R Cをお受けすることとなり、まずは4月の地区役員研修会を受け、いよいよRCとしての活動がスタート、身の引き締まる思いとともに自身を奮い立たせた。5月には次期地区役員・委員9名での準備リジョン会議を開催し、7月からリジョン運営を協議、6月に現次期地区役員・委員の引継ぎをし、その後7月から9月にかけて13クラブの例会訪問に臨んだ。この例会訪問には所属クラブの大岡会長と同伴で訪問、クラブ会長として素晴らしい経験だったと思う。関野ガバナーの基本方針やProject-Sへの熱い思い、会員増強、ライオンズムの高揚とライオンズライフを楽しんでいただきたい思いを伝え、各クラブの長年の歴史や伝統、特色あるアクティビティなどに触れ感動を得た。クラブ運営や当面する課題等についても話し合い例会訪問により各クラブとの親近感がより深まり、貴重な体験をさせていただきました。道前キャビネットが始動直後、西日本

豪雨にみまわれ愛媛県でも特にキャビネット構成リジョンにおいて甚大な被害が発生し、ライオンズクラブとしていち早くその支援に取り組み後にその成果の報告がありました。RCとしての活動は9月以降、9R地区ガバナー公式訪問、徳島眉山LC主催の剣道大会、鳴門LC、富山昭和LC姉妹クラブ提携締結覚書調印式、神山LC結成30周年記念大会、藍住LC結成50周年記念大会等多くの会合に出席し、6月に9R第4回全体会議を最後にRCの一年が終わった。この一年、多忙ではありましたが9R地区役員・委員をはじめ各クラブ会員の皆様のご協力をいただき楽しくつとめさせていただき感謝とお礼を申し上げます。7月には地区役員・委員の9名で慰労会を計画している。最後にになりましたが、この一年関野地区ガバナーはじめ、道前キャビネットの皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

「感謝！そして残念！」



1 R - 1 Z C
山田 公夫 (砥部)

昨年7月1R1ZCを拝命した途端に、西日本豪雨災害により1R地区においても甚大な被害が発生し素早く、藤岡1RCの指導の元、支援をすることが出来、皆様から感謝して頂き、ライオンズクラブの motto「We Serve」を感じることが出来ました。残念だったことは、第4回地区キャビネット会議、そして1R・第4回リジョン会議、1R合同引き継ぎ会、1R第4回ガバナー諮問委員会を病気のため欠席したことです。しかし藤岡1RCが私の代理を快く引き受けてくださった事には感謝感謝でした。そして、地区年次大会の代議員総会の指名選挙にて、友澤地区ガバナー立候補者が否決されたことです。友澤氏とは、菅ガバナー時、一緒に松山キャビネット内で約1年半活動をし、私が思ったのは「善良な徳性の持ち主」であるということ。その人がなぜ否決なのか？その後いろんな人からその件についてお話を聞かせてもらえる会がありました。1RC、2・3ZCや地区委員の皆様各クラブの皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

「山あり 谷あり」



1 R - 2 Z C
澤田 有馬 (松山西)

昨年、1R2Zのゾーンチェアパーソンを拝命し、間もなく一年の任期を終えようとしています。時代は平成から令和へと進みましたが、ライオンズスピリットは100年余変わることなく奉仕の精神で継続されています。

平成30年7月の「西日本豪雨災害」に際しては、道前キャビネット主導の迅速な対応、又LCIFの重要性を最も感じた出来事でした。「山あり 谷あり」の一年でしたが、最も緊張した「ガバナー公式訪問」、案外良かった7クラブの例会訪問、時間の配分に苦勞した「諮問委員会」が思い出されます。2Z合同例会は、2回の事前の準備を実施しての開催で、アトラクションで上演した愛媛県指定無形民俗文化財・人形浄瑠璃「伊予源之丞・恵比寿舞」を含めて大いに盛り上がった会合でした。

公式な会合で50回を上回りましたが、「忙しかったが、楽しく・素晴らしい一年でした」と言う結論となりました。キャビネット関係各位、2Z各クラブの皆様、松山西ライオンズクラブの皆様、一年間のご協力を頂き深く感謝申し上げます。

「一年をおえて」



1 R - 3 Z C
兵頭 好喜 (松山中央)

何をどうすれば良いのかもわからない中で地区役員、誰かはしなくてはいけないと諦めと開き直りで頑張ろうとスタートした途端、西日本豪雨災害が発生し1RC藤岡さんより中予地域の被災地区管内各消防署に高圧洗浄機を寄贈しようとの提案があり、急ぎ各クラブに承認して頂く手配、各消防署との打ち合わせ、高圧洗浄機の購入手配等、各自自治体との引き渡しや表彰式の日程調整等、藤岡RCの実に鮮やかな処理能力に感服して行動を共にさせていただきました。

又新会員オリエンテーション、リーダーシップ育成研修で講師を務めさせていただきましたが、講師役の方がよく分からないままでの研修でしたので理解し難い内容になったのではないかと心配しています。第3回地区ガバナー諮問委員会も終わり後は第4回地区ガバナー諮問委員会及合同引き継ぎと地区大会を残すのみとなり安堵していた中、まさかの展開が地区大会で起こりました。私の活動方針のひとつでもありました「女性の参加と関与の向上」については結果を残せなかったのが残念でありました。

ZC 退任挨拶



2 R - 1 Z C
秋山 克幸 (新居浜中央)

今思い返すとゾーンチェアパーソンになって長いようで短い一年でした。最初にキャビネット会議、リジョン会議、1ゾーンの会議と多くの準備会議に出席したことを思い出します。

関野地区ガバナーのスローガン「No try No change」キーワード「Wa(和)」のもと地区ガバナー、リジョンチェアパーソンの指導を受けながらゾーン内のクラブとキャビネットを結ぶパイプ役となりました。各クラブのご協力を賜り、友好と相互理解を促進し、クラブ発展を図り、初心を忘れず、和の心を持って、微力ではありますが頑張っていました。会員の皆様のご協力を頂き、多くの方達と交流し、勉強になりました。自分の一生の思い出が出来、感謝の心で一杯です。ありがとうございました。



1年顧みて



2R-2ZC 近藤 嘉男 (今治東)

関野ガバナー「No try No change」スローガンのもとゾーンチアパーソンを拝命しました。4月の次期役員研修会に始まり、6月になると、準備リジョン会議、次期リジョン会議、2R年次会合など、数々の会議が始まり、7月の任期が始まると第1回キャビネット会議、ゾーンの4クラブの例会訪問、8月には、ゾーンチアパーソンの大変な仕事である、第1回地区ガバナー諮問委員会、9月は地区ガバナー公式訪問、10月には、今治LCのサンライズ系山へのサイクリング車贈呈式、又3月には、今治中央LCの55周年記念例会、又3月には、関野ガバナー提唱する「Project-S」四国遍路道合同清掃を雨の中、今治市6ヶ寺を4クラブで分担して行いました。ゾーンの皆様、ご苦労様でした。又2ゾーンの合同例会を、今治東LC本宮会長の提案による、テレビでもお馴染みの、夏井いつき先生をお招きして「句会ライブ」を開催し、ゾーンの皆様に投句して頂き、5名を表彰しました。4月には、第65回年次大会、5月には最後の4回目のキャビネット会議、6月に、入り第4回リジョン会議、ゾーンの諮問委員会、年次会合あり、あつこの言う間、1年でした。最後になりましたが、私を一生懸命にフォローしてくださった、ゾーンの4クラブの三役の皆様、ZCA平野様、わがクラブのサポーターをして頂きましたクラブの皆様、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

『転起の一年』



2R-3ZC 安藤 宏 (伊予土居)

この一年間、3Z内5クラブの融和と連携・調和に心がけて運営と事業を行って参りました。今期は7月初めの西日本豪雨災害にはじまり9月の北海道をおそった地震災害他、台風被害報道等、変動の多い一年でしたが、3Zの皆様には西日本災害や北海道地震等へLCIFを通じてご支援いただきました。合同アクティビティとして「四国中央子育てフェスタ2018」に協力した際も各クラブより多数のご参加をいただき盛大に終えることができました。また336A地区の合同アクティビティ「Project-S遍路道合同清掃」も各クラブのご協力もと実施することが出来ました。例会訪問、会合、合同アクティビティ等、各クラブの皆様との交流を通して充実した1年を過ごせました。6月15日の3Z年次会合をもって今期のゾーン内での行事を無事完了いたしました。元号が平成から令和に変わった記念すべき年にこの役職を達成できた幸福感を胸に今後のライオンズ生活を続けてまいります。この一年間の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

想い



2R-4ZC 寺田 昌直 (西条石鎧)

この一年早かったのか？長かったのか？解りませんが、関野ガバナーはじめ、キャビネット役員の皆様と一緒に一年間活動が出来た事に感謝申し上げます。ZCを引き受けるに当たり、いろんな不安もありましたが、会議や公式訪問、周年行事などに出席させて頂いたことでのいろいろ勉強になりました。本年度はキャビネットが2R-4Zという事で4Zの会員様におかれましては特に大変であったと思います。その中で一番残念というか何というか次期ガバナーの件でございます。いろいろ混乱を生じた訳でございます。誰か、混乱を招いたかどうかは解りませんが、一部の方々の一部の感情的な要因もあつたと聞きました。感銘も解らず依頼され投票された代議員の方々、本当に内容を理解して投票されたのでしようか？疑問に思います。結果は良かったのか悪かったのかは解りませんが、次期ガバナー並びにキャビネット役員の皆様にはがんばって頂きたいと思えます。またゾーン会議におきましては、高橋ZCA、松田事務局員さんには大変お世話になり感謝申し上げます。私も25年後のRC、35年後のガバナーを目指して頑張ります。その時も宜しくお願い致します。一年間大変有り難うございました。

激動の一年間を振り返って



3R-1ZC 二宮 廣志 (野村)

ライオンズの活動にきわめて不熱心であつた私が、所属クラブ(野村)の都合でZCに任命されましたが、その任期もあとわずかになりました。私が行った活動を振り返りますと、必死になつて活動したのは3月に開催した第3回地区ガバナー諮問委員会ぐらだったのではと考えます。ZCに就任早々、西日本を中心に豪雨災害が発生しました。会社が大被害を受け、人に奉仕するどころではなくなりました。ZC就任の申し出を災害見舞にいられた関野地区ガバナーの面前で、宇和ライオンズクラブの某氏に話をすることがついで先日の事のように思い出されます。その後の数か月は会社の復旧作業、休日は水没した妻の実家(無人ではありません)の、片付け等に従事し、ライオンズの活動はほとんど出来ず、ゾーン内のクラブの方々には大変申し訳なく思っています。先日(5月26日)総社市で開催された複合地区第65回年次大会に出席しました。来賓の総社市長が昨年の豪雨災害の折のライオンズの活動、支援等に謝意を述べていました。ライオンズ活動の重要性を再認識致したところです。6月末をもってゾーン内の伊予長浜ライオンズクラブが解散する事が決まり、残念ではありますが、残る4クラブの今後の活躍を祈るばかりです。

ゾーンチアパーソン退任挨拶



3R-2ZC 山本 誠 (八幡浜)

2019年6月9日宇和島市吉田公民館にて開催された第4回地区ガバナー諮問委員会にて、三瓶ライオンズクラブ、西村正弘2ZC予定者に無事引継ぎを行いました。思い起こせば、昨年の7月7日の西日本豪雨災害で初会合が延期されるなど波乱にとんだスタートとなりましたが、キャビネットの災害支援の動きが早くライオンズクラブの連携が進み、四国内のライオンズクラブ全体が災害に遭った被災地支援に動き、ガバナー自ら率先した動きは、頼もしくスピード感あふれるものでした。まさしく、ガバナー「スローガンの「No try No change」を実践した行動でした。あつこの一年間でありましたが、3R-RCの末光勝幸RCのコミュニケーションの取れた連絡や相談には安心感があり、1Zの二宮廣志ZC、3Zの松浦司ZCとの連携も出来てスムーズな運営が出来たと思います。特にライオンズクラブの献血推進研究会は22回目を迎え、各クラブが年2回、中には伊方ライオンズのように年7回取り組んでいるクラブもあります。今後とも献血で救われる命がたくさんあることを念頭に日本赤十字社の活動を応援するライオンズでありたいと願っています。2Zでは、単独事業の伊方町佐田岬半島の桜並木を保全する活動があり観光客の皆様、地域の人たちにも喜ばれております。佐田岬半島には数万本の山桜が群生しております。例年9月から10月にかけて2Zの各クラブが担当の5地区をまわり、下草刈りや力ズラの撤去、植樹した桜の育ちを点検しております。今後とも桜の維持管理にはライオンズメンバーが協力して積極的に取り組んでいきたいと思います。1年間ありがとうございました。

多くの経験に感謝!



4R-1ZC 西崎 博史 (小豆島)

ZCに推され出向する事1年余り。小豆島LC以外に55を超える会社事業に出席参加。立场上業界や地域ボランティア等の役員や責任者としての会合も有り、それを加えると本業との調整に苦慮の連続。公私の区別には厳格でLCの事務処理は自宅から従業員が帰ってからと決め、極力業務に支障が無きことを企業経営者の責務と言いつつも聞かせながらの1年。元々のづくりが好きで選んだ職業なので、夜遅くまで作業は全く苦にならない。スパーゼネコン時代はその殆どを技術開発畑で務めたので、難しい仕事ややる気や闘志がでる性分。新しく公開される技術や研究に格別の興味を持つので、読む本のジャンルも幅広い。私は人間、誰も能力のキャパシティは際限が無いと考える。果敢に挑戦する気持ちがあれば乗り越えられる。今回のZCでの経験と、多くのクラブ・会員との交流と出会いに感謝し、これらのLCライブを楽しみたい。

「献眼奉仕」



4R-2ZC 植田 康広 (高松東)

第103号地区誌へZC就任あいさつの冒頭に元RCにZCの心構えを伺ったところ「何もしない事」でした。その言葉の意味が今わかりました。私は、その言葉を聞かずに角膜移植・献眼奉仕活動を始めました。4R23クラブへ例会訪問し、香川県への献眼の現状とご協力をお願いをさせて頂きました。10月7日には4R-2Zの合同アクティビティとして四献(献血・献眼・献腎・骨髄バンク)推進研究会を開催し大勢の方に出席頂きご理解を得ました。その結果1年たった今、新規献眼登録者が54名、アイバンク事務局の協力を得て過去に登録していた方々のデータの見直しをする事が出来ました。しかし、1925年国際大会において行われたヘルン・ケラーのスピーチで会員に「盲人のために暗闇と闘う騎士」となつてほしいと訴えライオンズクラブはヘルン・ケラーの求めに応じ、それ以来、ライオンズクラブの活動には失明予防を目的とした視力プログラムが含まれるようになりましたが、失明した方へは角膜移植が最善です。静岡県小山町では小山ライオンズクラブが認証50周年記念事業として献眼奉仕活動を始め50年たった今では町内死亡者の4人に1人が献眼されています。また4R-2Z高松東ライオンズクラブも周年記念事業として死後腎臓提供登録運動から当時の厚生省へ陳情し、人工透析を健康保険の適用を受けのきかけにまでなつたそうです。その時の事は何度も上京し、筆舌に尽くし難いと当時を知る会員は言っておられます。まだ一年が過ぎたところです。一朝一夕で解決できる奉仕ではございませんが、今後とも協力のほど宜しくお願い致します。一年間有り難うございました。

退任にあたって



4R-3ZC 大村 一彦 (志度)

昨年4月の次期RC・ZC・地区委員研修会をスタートに、今日まで多くの皆様にお支えをいただき不十分ながらもZCの職を全うすることが出来ました。厚くお礼申し上げます。さて、今期の4R-3Zの奉仕活動の中でも思い出に残るものは、関野邦夫地区ガバナーの示された「Project-S」と銘打った環境美化の四国霊場88所遍路道一斉清掃事業でした。当4R-3Zは上がり3カ寺を要しており、その遍路道の清掃は、まさに我が意を得たりの企画でありました。春また浅い季節でしたが当日は好天に恵まれ、5LC合同の取り組みとして多くの参加者を得て、お山に感謝！のスローガンのもと、なんとも和やかな雰囲気の中実施され、大きな成果を上げるこ

とが出来ました。また、今期は5クラブ中4クラブが周年記念の年であり、多忙な中、記念事業により地域への奉仕の輪が広がった年でもありました。ご苦労様でした。結びに、この間のご指導ご協力に改めてお礼を申し上げます。退任の挨拶と



ゾーンチエアパーソン退任挨拶



4R-4ZC 岩崎 康誠 (高松屋島)

初夏の候、皆様におかれましては、ますます清祥の事とお慶び申し上げます。日頃はライオンズクラブ活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年4ゾーン合同例会で次期ゾーンチエアパーソンとして紹介して頂いてから一年が経ち、大火無く本日を迎えられること、4ゾーンの役員・委員及び4ゾーンの会員の皆様にご感謝の心で一杯です。有難う御座いました。

今期、関野地区ガバナースローガン「No.1 No.challenge」キーワード「Wa(和)」そして「Project」を基に4ゾーン各クラブのライオンズ活動を拝見させて頂きました。各クラブ共、歴史があり、特徴があり、個性があり、人数が多きとも少なくとも本心に素晴らしい活動をされておりました。

336-A地区年次大会では、4R-4Zのガバナードワードは全30を頂きました。4ゾーンは、336-A地区に於いてそれだけ社会奉仕を活発に行っている証しだと思います。4R-4Zのまとまり、友情は最高です。本当に実感致しました。

2回の4ゾーン合同アクティビティ「薬害防止パレード」「Project-S 屋島山清掃」に沢山の参加を頂き有難うございました。しかし、残念なことに4名の大先輩が逝去されました。また、これからの4ゾーンのリーダーになると思われる若いライオンがこの世を去りました。非常に心が痛み残念であります。

心よりご冥福をお祈りいたします。会員増が難しく高齢化が進んでいるクラブが多く危機感を感じていることと思いが、少数でも楽しく、クラブ全体でアクティビティを行っていただければ良いと思います。希望をもって頑張ります。4ゾーンの皆様には、温かいご支援ご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。各クラブさまの今後益々のご発展と、会員皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げまして御礼のご挨拶とさせていただきます。

「改革とは」



5R-1ZC 津谷 陽一 (うたづ)

「改革なくして発展なし 改革に休み なし」を私のスローガンとしてZCになりました。

と云うのは一年前のライオンズを取り巻く環境がよくなかったからです。例えば会員の減少・出席率の低下などです。これは、ライオンズの魅力がなくなってきたかと思いましたが、皆さんと一緒に「改革」を断行して現在の社会情勢に合わせたライオンズクラブ作りを考えなければ魅力あるクラブにはならないと思われた。日々の仕事(会議・研修・例会訪問・豪雨災害の義援金集め・LCH100・Project-S)に追われ大きな目標でもある「改革」が手につきませんでした。これは、336-A地区全体で考えなければ改革はできないかと思いましたが、だとすれば、「改革」を中心に加え、また、その痛みに耐えられるガバナードワードの出現を待たなければいけないのか。また、一年間でそれが出来るのか疑問です。やはり336-A地区の各クラブ全体が常に「改革」を共有し議題の中心に置き活動しなければいけないと思います。

自分の力の無さに無念な気がしますが、一年間ありがとうございました。

ZCとしての1年



5R-2ZC 亀山 茂雄 (三豊)

この一年は7月の水害に始まり、「第65回地区年次大会でのガバナードワードが選挙で否定」されるなど大変な1年となりました。

一年間の活動報告書を読み返すと、ZCとしての役目を果たしたかはなほ疑問が残るが、自分なりに一生懸命務めたと思っています。特に地区ガバナードワード諮問委員会・ゾーン会議の開催などは、資料の作成から会議のスムーズな進行など時間をかけ過去の資料を参考に取組みましたがいざ行くと大変でした。

しかし、地区役員・地区委員皆様のご協力をいただき無事1年間を乗り切ることができました。

また、色々な会議に出席し地区内の各リゾンの役員との出合いがあり自分にとっては大変有意義な1年間でした。

この経験を今後ますますライオンズ活動に生かしていきたいと思っております。

5Rの地区役員・地区委員の皆様ご協力本当にありがとうございました。

感謝



6R-2ZC 森岡 義行 (伊野)

この一年間、6R-2ZCの職務をつとめさせていただきましたことにご支援やご協力を賜り大変感謝申し上げます。

各クラブの例会等に出席させて頂きまして、率直で色々な意見や提案をいただきました。又地域に密着したアクティビティに取組み推進活動している事に、非常に参考となり感銘を受けました。

そして、色々な会合に出席させていただきまして、各分野の進むべき推進活動が理解出来たと思っております。

又、道前キャビネットの統一事業であります、Project-S「四国を繋ぐ道道清掃」の三月十日は天候不順にも関わらず、各クラブ大変熱心に取組んで頂きましたことに感謝申し上げます。当日の道道清掃の作業について、地元「高知新聞」で写真入りで大きく取り上げて頂きました。統一事業の目的とライオンズクラブのPRの役目が果たされたと思っております。

さて、ライオンズクラブを取り巻く環境は激変しています。今後、私はライオンズム高揚のため日々努力し、地域に密着したアクティビティに取組んでいきたいと思っております。

「一年の活動を振り返って」



6R-3ZC 笹本 泰秀 (土佐清水)

3ZCを拝命してから早や一年が経ちます。道前キャビネットでの研修会から始まり各クラブへの例会訪問、諮問委員会の開催などで3Z内の皆様は元より山崎6RCにはお世話になりました。

しかしながら、話題に出るのは会員の減少で運営費が高む、ZCまた、RCを受ける事が困難になってきていると云う声です。昨年一年で日本の人口自然減が44万人だそうなんです。これは地方、田舎ほど厳しい状況です。都市部のクラブと一律には出来ない様に思います。近年のライオンズクラブは委員会や研修会など出席義務が多い事も大きな負担になってきます。「今までどおり」のライオンズクラブでは、10年もすれば立ち行かなく成るのではないかと考えさせられました。ネガティブな事ばかり書きましたが、私は車好きで、長距離の運転も苦にならなかつたのですが、キャビネット会議、複合地区等々への出席で流石に飽き飽きしました。四国の端っこからは遠かった。

ZCへの誘い



7R-1ZC 細川 拓史 (高知鷹城)

今期は、6月28日から7月8日迄「平成30年7月豪雨」と言われる記録的大雨が発生し、336複合地区では、広島、岡山、愛媛、高知各県において大規模な被害を受けたところ、道前キャビネットの迅速かつ適正な災害援助金支給の決定および執行を間近でみるに、ゾーン・チェアパーソン就任早々、奉仕団体たるライオンズクラブに所属することへの誇りを改めて強く感じたことでした。また、周知のとおり、今期地区年次大会では、地区ガバナードワードに空席が生じました。この点、地区キャビネットでの話し合いも選ばれる側も真剣に悩み、意見をぶつけ合い、真摯に向き合う姿勢をみるに、名誉や静い等の類いのものでない、ライオンズクラブガバナードワードの重責を見せつけられたことでした。

さて、この1年間、覚悟を決めたようでもそれを補う知識もなく、池本耕三7Rジョン・チエアパーソンの厚い手解きを受けながら何とか務めて参りましたが、7リジョンゾーン各クラブへの例会訪問、記念式典の参加、ガバナードワード諮問委員会の開催など、結果的にはあつという間の、素晴らしい充実した1年間でありました。宇都宮2ゾーン・チェアパーソン、中山3ゾーン・チエアパーソンとは良い仲間であり、池本7リジョン・チエアパーソンをリーダーとするチームワークはとても良いものでした。今期、満足いく結果を残すことは残念ながら叶いませんでしたが、この良き経験に感謝すると同時に、これからの方には是非伝えるべきと思ひ、記す次第です。

7R-2ZC を終えて



7R-2ZC 宇都宮 博史 (高知桂)

過去10年の間にキャビネットに4回入り、ZC就任にあたり、仕事の内容は少しわかっているつもりでしたが、実際はちよつと違って、最初は戸惑いました。印象としては、結構仕事があるな、動かなくてはならないなと思いました。結果的に、池本7R-1RCにおんぶにだっこで1年間務めさせて頂きました。思い出としては、年4回のキャビネット会議で、愛媛出張の折は必ず、細川7R-1ZCの車で4人(池本RC・細川1ZC・中山3ZC)で出かけ、朝車の中で打ち合わせをして、高知に帰ると打ち上げの飲み会をすると言う事が楽しい思い出となりました。4月7日の代議員総会での指名選挙委員という貴重な経験もさせて頂きました。今後はしばらく英気を養い、あまり出られなかつた自クラブの例会に出席したいと思ひます。これからも宜しくお願ひ致します。

ZC退任にあたって



7R-3ZC 中山 喬夫 (南国)

ゾーン・チエアパーソンを拝命してから一年が過ぎZCとしての難しさを痛感しております。今期は7Rのゾーンの編成変更が無事に終わることができました。：が年次大会での次期地区ガバナードワードにおける不信任ということで関野ガバナードワードである Wa(和)の精神が活かされなかつたのは残念でなりません。

今後はライオンズクラブの「友愛と相互理解」の精神で協調・融和をはかり今期のようなことがない事を願っています。

最後に、この一年間支えていただいた、3ゾーンの皆様またクラブの方々のご指導ご協力を心よりお礼申し上げます。

ありがとうございます。





8R-1ZC 生田 素久 (徳島すだち)

今期、8R-1Zのゾーン・チェアパーソンを無事に務めることが出来たことを、大井リジョン・チェアパーソンはじめ、各委員の皆さま、そして何よりも関係クラブの皆さまに、先ずもって御礼申し上げます。数々のご協力、誠に有難うございました。

関係各位の方々にご指導を頂き、誠心誠意努めて参りましたが、職責を全う出来たか否か、確たる自信はございませんが、関野ガバナーの方針に基づき、行動してきたことには間違いございません。また、就任当初に申し上げていた各クラブ間の相互の活発なコミュニケーションにおきましても、合同例会等々の実施にて、微力ではありませんがお手伝い出来たのではないかと思っております。

この一年間の多くの方々との出会いを大切に、今後も益々、ライオンズクラブ活動に邁進して参ります。今後とも、宜しくお願いを申し上げます。有難うございました。



8R-2ZC 北橋 孝三 (上坂)

昨年の4月29日 地区役員研修会から始まり準備リジョン会議、キャビネット会、各種委員会、諮問委員会、例会訪問と今までのクラブ内と違ってより多くの人達と接しているりと経験を積むことができた。ガバナー、キャビネット事務局と各クラブ、会員とのパイプ役として努めるのが任務であります。十分に果すことができず反省しています。こうした中で平成30年7月の豪雨で愛媛県被災地支援チャリティーゴルフ大会には4回程の打ち合せで、11月3日開催に向けて準備を進め二百余名の会員と一般参加の人で盛況のうちになりました。又Project-Sも各クラブがいろいろな形で参加して一般の方に報告できました。

この貴重な経験を今後の活動に生かしてまいります。皆様方にはいろいろのご指導、ご協力をいただきありがとうございます。ありがとうございました。



9R-1ZC 江富 久雄 (北島)

ちょうど一年前クラブ会長よりZC就任の依頼がありました。知識、人望などその任に堪えうることでできそうにないと辞退しましたが、が諸般の事情によりお受けせざるをえませんでした。ZCはとにかく会議に参加することはもちろんそこで挨拶が求められます。人前で喋ることが苦手なわたしには苦痛でした。

しかし、クラブ訪問、委員会やクラブ周年行事に参加し、その度に新しい出会いがありました。本当にいろんな方々とお話をさせていただいたのが大きな財産となりました。またProject-Sでは1Zで纏まって江戸時代から残る遍路道の清掃を企画し、何度も下見をしたり警察に相談に行ったりしましたが当日はあいにくの雨で全体で動くことができませんでした。四国88カ所を世界遺産にという話です。この事業は継続活動にすべきです。関係者の皆さんお世話になりました。

浅学非才の私にこの大役が務まるかと危惧して参りましたが、ガバナースローガン「No try No change!」挑戦しなければ変化は起きない、この言葉を受けキャビネット会議をはじめリジョン会議、諮問委員会等の会議に出席、会員の皆様の意見を拝聴しました。特に四国88カ所の世界遺産に向けてのProject-S、遍路道の清掃について雨天の中それぞれ各クラブに於いて参加をして頂きました。例会訪問の際には会員の皆様と親しく言葉を掛けていただき楽しい例会で大変参考になりました。

ガバナーを始めキャビネットの方々、各クラブ会員の皆様のご支援とご協力により無事に大役を務めることができましたことに感謝申し上げます。今後ともお礼申し上げます。今後は一員としてこの経験を生かして活動していきたいと思っております。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。い申し上げ退任の挨拶と致します。

お世話になりました。



GMT・GLT・FWT・会則委員会 委員長 松本 清 (新居浜ひうち)

この一年間 GMT・GLT・FWT・会則委員会の委員長をさせて頂いた漢字の『松本清』です。何もわからないまま委員長を仰せつかった次第ですが、最初に私が気が付いた事は、この委員会だけは最後に数字で結果が出てくる。という事でした。

その為に、ガバナー公式訪問は全部寄せて貰おう。周年行事なども行けるところへはとことん寄せて貰おう。そして、先ず、大勢のライオンの方に、自分を知って貰う事が何より一番先決だ。と思いました。しかし、最初の1リジョンの時は要領も何もわかりませんでした。それでもその次の公式訪問からは参加者全員の方と名刺交換をして、その後の懇親会では、全員の方にビールを注いで新入会員の獲得をお願いして回るといふ事を始めました。常に三本の瓶ビールを持って回りました。発言機会の無い会であっても、必ず発言をさせて頂いて、必ずお願いをし

百枚を使いました。もう一つ大変だったのは、年次大会の代議員の投票結果でした。全国でみれば、他地区では同じ様な事が以前に有ったとはいえず、とにかく傷口を出来るだけ小さくしなければならぬという事でした。最終的に何らかの方向では進んでいく様にはなるだろう。しかし、その方向性が出来た時に、既に、みんながバラバラになっていては取り返しの付かない事になりかねない。その為に、私の立ち位置は、両方の中立でなければならぬ。常に、両方の融和を訴え続けていなければならぬ!道しかなかったという事でした。当初、会員純増が91名で全国一位新入会員数が104名で全国二位という好成绩でスタートしましたが、現在に於いて純増が期首比でマイナ

MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員長を務めさせて頂くことになり早くも一年以上経過しました。今は次期の委員長さんに引継ぎを早くしたいと、そればかりを願っております。西条市のキャビネット事務局へは冬頃よりキャビネットの立ち上げ準備のために通い始めました。月に2回、18・30・20・00頃までガバナーを主に会議と報告を熱心に実施して参りました。最初の頃は私も緊張して参加して参りましたが次第に皆さんと仲良くしていただけるようになり事務局へ訪問するのが楽しみでした。私のメインの仕事は地区誌「四国」の年4回の発行でした。これが発行出来なければ当委員会の存在価値が無いと、これだけは解らないなりに副委員長にアドバイスをいただきました。各リジョンの9名の委員の皆さんに明確な指示を出してリーダーシップをとる立場でしたが皆さん私より

「貴重な経験をさせて頂いていただきました。退任のご挨拶。」



MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会 委員長 福山 宏 (新居浜)

年上で経験豊富な方々だったので私は随分と頼りなく見えたと思っております。委員の皆さんが理解のある方々で何とか委員長を務める事が出来ました。年次大会の分科会で私は約100名のライオンの皆さんに約一時間も委員会の説明をする機会があり、これが近年では一番緊張した時間でした。久しぶりにパワーポイントを手に入れて説明資料を作り、時間以内におさまるよう一人一人時間を計りながらリハーサルして本番に臨みました。終わった時には本当にほっとしました。

この委員長を引き受けて、「解らないことでも何とかなるものだ。」と少し度胸と自信がついた気がします。今は地区誌最終号の4号を編集している最中です。これが完成して発行できれば私は満足してこの役を終ることが出来ます。出向を終え自分の所属する新居浜ライオンズクラブのメンバーとして引き続き頑張っていきたいと思っております。



一年を振り返って



青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト委員会 委員長 野間典子 (今治くるしま)

就任のご挨拶から一年を経て、年度当初の目標をどれだけ達成しているか顧みる時期になりました。平和ボスターに関しては、数多くのある力作から地区代表に選ばれた作品が複合地区代表になり、国際本部での最終審査に進みました。毎年クラブに応募した作品から厳選して地区に応募されていることと思いましたが、それでもクラブによっては複数の応募をしてこられます。平和ボスター活動が活性化するのは歓迎すべきことですが、それが地区への応募に直結すると大変な数になり、審査をするのに結構な時間と手間が割かれる現状をお汲み取りいただきたいと思っています。
近年LCIFへの寄付のピンバツジ授与の金額が毎年上がってきておりますが、今年は『キャンペーン100』という三年間の新たなプロジェクトが提案され、少々疲弊感もある中、まじめな336A地区のことです。五月末現在で、会員数5050名(家族会員を除く)の寄付総額が53,654,900円と一人100\$の目標に限りなく近づいてきました。4月の地区年次大会前日のチャリティゴルフ大会での寄付の事務処理が済めばもったい数字になっていくことでしょう、この場を借りてお礼申し上げます。
今年も県単位での地区委員会主催の「会員対象のライオンズクエストセミナー」を開催いたしました。アクティビティもほぼ終わっているだろうと年度終盤に開催したのですが、それでも日程調整に苦労しました。多くの参加者からの感想にある「知らない者同士でも同じグループで役割分担をしたり意見を交換していくと距離が縮まってくる」というのがまさにこのプログラムのすばらしさのひとつです。ぜひ実感したよさを地域の幼稚園や学校に伝えてほしいと願います。この事業は地区内のクラブの周年記念事業等でご寄付いただいた資金で運営していることをつけ加え、今後ともライオンズクエストの支援をお願い申し上げます。

天災から人災、嵐のような一年



環境保全・保健福祉・アラート委員会 委員長 篠原 悟 (四国中央法皇)

以上の成果もありました。思いを素直に伝えれば、真摯に対応して戴けるといふ336A地区のライオンズクラブの心意気を頼もしく感じさせられた1年でもありました。元々、ライオンズクラブの全国大会を実現したいという想いがあり、今回、道前キャビネット入りを快諾したのですが、その啓発活動は諸事情で中々進まないというのが実状でした。西条市での地区年次大会開催では会場、駐車場の確保、行政等への依頼などの地域を跨いだ準備作業がとてつもない大変さの感想から、今後、人口減少の続く市町村での開催はさらに困難になっていくため、年次大会は県庁所在地での通年開催が望ましいと思っております。この一年半を通じて、道前キャビネット内局会メンバーとの交流が深まり、人脈を大きく広げられた事は何事にも代えがたい経験でした。今回の人災はパンドラの箱を開けた、新たなエモーションの胎動に繋がったのではと感じられました。キーワードは愛。

退任挨拶



YCE・ライオンズレオ・国際関係委員会 委員長 青井俊夫 (東予)

今年度のYCE活動ももうすぐ終わろうとしている...と云いたいところですが、今年8月末まで一杯頑張らなければなりません。委員長を拝命して一年半が過ぎますが、毎日YCEの事が頭から離れず、サマーカーン・ウインター・キャンペーン等々、本当に忙しく大変でした。7、8年前YCEの地区委員を経験していましたが、委員長はまったく別の役職でした。委員会他の資料作りなどは自分の努力でカバー出来るのですが、どうにもならなかったのが受入希望クラブの少なさ、反応のなさ。複合からは地区に確実に割当が来ます。それを消化できないうちから、個人的には希望してきてくれないクラブに持つて帰って理事会・例会で拒否される。そんな事も多々見えてきました。この傾向はA地区だけでなく全国的で、ライオンズクラブだけでなくクラブ以外の一般家庭にもお願いするとかいえる考えが、理念を理解してしまえなかつたらとか心配になってしまっています。

退任挨拶



IT推進チーム リーダー 井出幸彦 (今治東)

この一年、地区委員長と地区委員、副幹事を兼務し、貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。方針として掲げたMYICI一本化に伴うサポートは2019年11月にeAMR Servanna 切断が予定されていますが、一本化は日本語化、入力項目増加等の対策が遅れているため、具体的なスケジュールは不明です。切断後は当面、MYICIとServannaが共存する体制になると思われ、そのためのサポートが来季必要になってくると思われ、MYICI普及促進及びサポートはリリース後のバージョンアップが進んでおらず登録の必要性が薄いため普及が進んでいません。しかし、今後必要性が高まってくるので普及にはサポートが必要となります。そのためにはスマーフトフォンに替えて頂くようお願い致します。また、MYICIとMYLIONの共通アカウントとしてLion Accountが発表されましたが、登録は一時中止となっております。地区役員はホームページでの情報発信ですが普及率83%です。100%目指します。

松山ホストライオンズクラブ 結成65周年記念例会

会長 友石 晃由

私たち松山ホストライオンズクラブは神戸（ホスト）ライオンズクラブのご指導のもと1953年10月5日結成式12月12日に国際協会から認証されました。東京、横浜、神戸、大阪そして松山と全国で5番目、中・四国ではじめてのライオンズクラブが松山の地に生まれました。

結成当時の30名のチャーターメンバーに集まった先輩の皆様が、築き創造してこられましたライオンズ精神やアクティビティは、現在も大きく育ち、引継がれております。これまで先輩方のご指導、ご活躍により65周年を迎えることができ、このクラブから6つのライオンズクラブをエクステンション現在3361A地区は、144クラブとなり約6,000人もライオンが生まれ育っております。

去る2019年3月17日（日）私達観音寺中央ライオンズクラブは、創立25周年記念式典を公私共に大変お忙しい中、香川県知事、観音寺市長、地元関係諸団体のご来賓の皆様、ライオンズクラブ国際協会3361A地区、第一副地区ガバナー友澤節男様はじめ地区役員、地区委員の皆様、ブラザークラブの皆様、176名の方々のご臨席を賜り厳粛な中にも盛大に挙行することが出来ました。厚く御礼を申し上げます。

ライブがはじまり、プロの迫力や音響・照明・演出に圧倒され、度肝を抜かれた感がありました。祝宴会場も段々と盛り上がり、祝宴最後に女性ボーカルのリードにより、大きな輪の「また会う日まで」の大合唱で、大いに盛り上がり、終える事が出来ました。会員数が少ないクラブではありませんが、一致団結し、やれば出来る、記憶に残る、記念式典・祝宴になったと自負いたしております。元号も変わり、新しい時代に向かってこれからも、会員一同奉仕活動を通じて地域社会へ貢献したいと、決意を新たにしております。

観音寺中央ライオンズクラブ 創立25周年記念式典を終えて

観音寺中央ライオンズクラブ
創立25周年記念 大会委員長 平口 佳明



ガバナーご挨拶



会長挨拶



神戸（ホスト）LC感謝状贈呈



観音寺中央ライオンズクラブ



記念事業目録贈呈



「また会う日まで」の大合唱

高知レオクラブ 50周年記念式典について

ライオンズクラブ国際協会3361A地区
6RMC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員

竹島 讓

高知レオクラブは1968年6月29日に高知LCのスポンサーで、日本で最初（世界で18番目）のレオクラブとして結成されました。

今年で結成50周年を迎え、3月17日に記念式典および祝賀会がザ・クラウンパレス新阪急高知にて開催されました。尾崎高知県知事、岡崎高知市長を初めとして、高知レオクラブOBの方々、3361A地区役員の方々、3361A地区のレオクラブメンバー、盛大に開催することができました。式典では50年間のレオクラブの奉仕活動が、レオメンバーによってスクリーンを使用しながら紹介されました。通学で利用するJR旭駅前月1回の清掃活動、そして今年に結成50周年記念事業として西日本豪雨災害のボランティア活動、高知LCと共同で北見出航の碑付近の清掃や鏡川七河川一斉清掃への参加、敬老の日には養護老人ホーム福寿園の方々全員に手作りオイルワックスのプレゼント、また最も時間をかけた工夫された、高知県視覚障害者協会の方々の懇親バーベキューキャンプ開催など、勉強やクラブ活動も忙しい中みんなまで考え、一緒に行動し結成50周年に相応しい成果を見ることができました。

祝賀会ではレオクラブが在籍する高知中学高等学校の吹奏楽部、軽音楽部、ダンス部により生演奏やダンスの披露で盛り上げていただきました。最後に浜田英宏第3代高知レオクラブ会長から当時のメンバーの思い出、学校の応援、高知LCとの交流を語っていただき、我々高知LCの現会員さえ知らない話を聞くことができ、有意義な時間を持つことができました。これからもレオクラブが奉仕の精神で益々活躍できるように、支援を続けたいと思います。



高知レオクラブ・高知LC集合写真



高知レオクラブ在籍高知中学高等学校の吹奏学部による生演奏



高知レオクラブ演吉会長挨拶



乾杯の音頭 元地区ガバナー・地区名誉顧問・GSTコーディネーター橋本充好氏



幕末から明治維新にかけて多数の偉人を輩出した佐川のお話をさせていただく乗台寺長老 種田快盛氏



「フェアリーピッタ」というのは、高知県の県鳥とされている「ヤイロチョウ」の学名です。2015年に高知県で結成され、年に4回定期演奏会を行いながら、様々な場所で演奏をしているグループです。弦楽器や管楽器、そして雅楽で使われている竜笛など、多彩な楽器を使って演奏しています。

結成50周年記念式典を終えて

佐川越知ライオンズクラブ 会長 島崎 雅哉

若葉が目染みる4月21日、結成50周年記念式典を無事終えることができました。

尾崎県知事をはじめご来賓、そして地区役員並びに遠くは北海道常呂、岡山倉敷東ライオンズクラブをはじめ多くのブラザークラブのご登録ご参加を戴いた賜物であり、心より感謝申し上げます。須崎ライオンズクラブのスポンサーにより産声を上げて半世紀、先輩たちの存在の重みを感じながら活動が続けてまいりました。平成から令和へと時代が流れ変化するなか奉仕活動は存在意識を増しております。私達は青少年育成・教育が活動

の柱という観点から、記念すべくメイン事業として伊藤蘭林生誕200年祭記念碑3基を寄贈しました。幕末から明治維新にかけて数多くの偉人を輩出した文教の町と言われる佐川町、その歴史的背景を、乗台寺種田快盛長老から蘭林を中心にわかりやすくお話を戴き、教育がいかに大切か理解することができました。祝宴前には、フェアリーピッタの心洗われる生演奏を堪能し、清々しい気持ちでお酒を楽しみました。会員の高齢化・減少という大きな課題を抱えていますが、心新たに精進する決意です。

結成40周年記念式典を終えて

高知鏡川ライオンズクラブ 会長 浜田 展吉

平成31年4月21日(日)に結成40周年を迎えることができました。公私共々にご多忙にも関わらず、尾崎高知県知事、岡崎高知市長をはじめ336-A地区役員、地区委員、多数のブラザークラブの皆様、姉妹クラブである米子グレートサウスライオンズクラブの皆様のご臨席を賜り、心より感謝申し上げます。結成40周年式典の際にはダンスを披露して



第17回公演「ハチの伝言」



地域花いっぱい8030事業贈呈式

祝宴に華を添えてくれました。次に、今期12年目となる「地域花いっぱい8030(はちまるさんまる)事業」に取り組んでいます。地域の方と子供たちがコミュニケーションを図るために地域の方のお家前にお花を配り、登校時の8時、下校時の3時にお互いに挨拶等の声掛けを行い、子供たちの防犯活動に役立てようとする事業です。12年前に開始した当時小学6年生達が、もうすでに25歳になりました。いずれば子供の親となり子供の尊さを感ずるようになると思っています。その時に我々が行った地域の方々と一緒に少しくとも思いついて欲しいです。できなことなら何処かのライオンズクラブに参加して、「We Serve」の精神で私達の意思を引き継ぎ、次世代の子供達の育成に携わって頂けることが、高知鏡川ライオンズクラブ会員全員の総意です。この継続事業が5年、10年、15年後の会員増強にも繋がっていくだろうと信念を持って行っております。

最後に、この式典で発表させて頂いたことを感謝すると同時に、クラブ会員同士がさらに一致団結し、強い絆ができ、思い出に残る40周年記念式典でした。さらに50周年60周年と継続できるように努力していきたいと思っております。今後共、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結成50周年記念大会を終えて

336-A地区9R1Z 藍住ライオンズクラブ 会長 石川 智能

平成から令和へ新しい時代となった5月12日(日)藍住ライオンズクラブ結成50周年記念大会が徳島駅前阿波観光ホテルに多数のご来賓、地区役員、スポンサークラブ、更に友好クラブの皆様方多数のご臨席のもと盛大に行われました。

この一年、準備委員会を発足させて相談を重ねて参りました。まず、会員増強の呼びかけ、アドプト事業の吉野川河川敷清掃・献血の推進・平和ボスター・献血登録の呼びかけ等充実した活動が出来ました。



また会う日まで



式典前の集合写真



祝宴余興 書の揮毫

合文化ホール内の町民広場に時計塔の設置と室内に備品を寄贈しました。時あたかも交通安全週間中であり、指示器は早めに阿波の路のステッカーを警察と共にドライバーにお渡しが出来ました。

また結成50周年を記念して5月6日にパークゴルフ大会を行い友好クラブより30数名の参加があり有意義にプレーを行いました。

この度の記念大会を成功裏に導く為に共に協力頂いた会員に労いを報告と致します。

クラブ自慢のアクティビティ

※諸事情で前回、掲載出来ませんでした。

松山白鷺ライオンズクラブ

『楽しく走れ! これぞ君も HERO!』第3回かけっこ教室
小学生1・2・3年生144名に、ニンジニアスタジアムで(財)愛媛陸上競技協会と松山北高陸上部により、走りの練習後50m走のタイムをオーロラビジョンに掲示。子供達に走りの基礎学習と公式競技場での疾走を体験してもらいました。



丸亀京極ライオンズクラブ

「ハッピーコンサート」2月15日
市内幼稚園や保育所を訪れ、歌や演奏のプレゼントをしています。園児たちのよく知っている歌と一緒に歌ったり、パネルシアターを楽しんでいます。



高松紫雲ライオンズクラブ

高松大洋ボウルで高松市肢体不自由児父母の会の方々の招待し普段が難しいボウリングを堪能して頂きました。



高知ライオンズクラブ

第48回ライオンズスポーツ表彰式
スポーツで功績をあげた県内の中学生にライオンズスポーツ賞を授与しています。今回は個人37名を表彰しました。



〈四国をつなごう〉 Project-S 合同遍路道清掃



物故会員

謹んでお悔やみ申し上げます

①氏名・享年 ②所属LC ③入会年月日 ④没年月日



①田中 良治(83歳)
②4R-3Z 東かがわ
③1975年12月1日
④2019年4月1日



①宇都宮 大朗(70歳)
②3R-1Z 野村
③1984年11月15日
④2019年4月4日



①九鬼 一喜(69歳)
②1R-3Z 松山白鷺
③1992年3月19日
④2019年4月5日



①南部 正義(95歳)
②6R-2Z 中土佐
③1984年11月7日
④2019年4月6日



①坂本 進(71歳)
②4R-3Z 長尾
③2012年1月6日
④2019年4月15日



①増田 宗樹(46歳)
②4R-4Z 高松栗林
③2003年7月1日
④2019年4月28日



①宮内 利三郎(96歳)
②4R-4Z 高松紫雲
③1970年3月8日
④2019年4月29日



①藤田 賢慈(74歳)
②5R-2Z こんぴら
③1990年2月22日
④2019年5月30日



①福岡 義人(63歳)
②3R-3Z 南宇和
③1994年6月1日
④2019年6月2日



①富永 大司郎(83歳)
②9R-1Z 藍住
③2003年4月1日
④2019年6月17日



①三宅 ヨシユキ(78歳)
②7R-1Z 室戸
③1980年8月26日
④2019年6月27日



編集後記

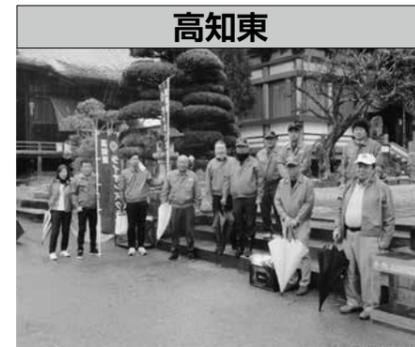
私が委員長に就任して最後の責任をこの地区誌第4号を発刊することで終えた様な気がいたします。私の委員会は本来いろいろな使命がありますが地区誌「四國」を4回発刊する事が一番の使命と考えておりました。全く知識の無い状態でスタートしましたが皆様のご協力のおかげで何とか乗り切りました。今号は年次大会と退任挨拶がメインの記事となりました。皆様からお寄せいただいた記事にしっかりと目を通させていただきました。皆様が責任ある役割をやり終えてくれた事に共感を感じました。本来は文字数の制限もありますので編集させていただきたくところですが今回はあえて編集をせずに原文のまま掲載させていただく事にいたしました。

年次大会で予想外の事が起こり構成を考える段階で迷う事が多々ございました。次期のキャビネットへの橋渡しになるような事も検討しましたが急な事も有り、なかなか思うようにいかないものです。

私はこの一年間貴重な体験をさせていただき大変有りがたいと思っております。長いライオンズ人生でも最初で最後かなと思えます。皆様大変有難うございました。

MC・ライオンズ情報
地区誌・大会参加委員長

福山 宏



須崎
雨天中止
当日午前8時～10時の間、須崎地方は最大4.5mmの降雨があり、やむを得ず中止した。



〈Project-S〉 6R ダイジェスト

※諸事情で前回、掲載出来ませんでした。